

修 士 論 文 要 旨

看護学専攻 実践基盤看護学分野 看護管理学領域		学籍番号 218601 氏 名 安藤 千智
論文題目	看護師のワーク・エンゲイジメント向上に効果的な上司のサポートの実際	
キーワード	中堅看護師 ワーク・エンゲイジメント 上司 サポート 信頼関係	
<p>＜研究背景＞</p> <p>近年、ワーク・エンゲイジメント（以下、WE）が注目されている。WEは「仕事に誇りをもち、熱心にエネルギーを注ぎ、仕事から活力を得て生き生きとしている状態」であり、バーンアウトした者に対して心身の状態が良好で、生産性も高い。WEを高める要因には上司のサポートがあるが、看護師のWE向上に効果的な上司のサポートは明らかになっていない。</p> <p>＜研究目的＞</p> <p>中堅看護師が自身のWE向上につながった上司のサポートの実際を明らかにする。</p> <p>＜研究方法＞</p> <p>研究デザインは質的記述的研究である。調査協力の得られた病院に所属する看護師18名に半構造的インタビューを行った。調査ではインタビューガイドに沿って、自身のWEが高まったと思うエピソードにおいて受けた上司のサポートについて聴取した。インタビュー中の会話を元に逐語録を作成し、逐語録を繰り返し読み、調査協力者が上司のサポートに関する内容として表現している部分を抜き出してデータとした。データはコード化し、意味内容に類似するコードをまとめグループ化し、サブカテゴリーとカテゴリーとした。本研究は、三重県立看護大学研究倫理審査会の承認を得て実施した（通知書番号：195204）。</p> <p>＜結果＞</p> <p>分析の結果、18の〔サブカテゴリー〕と6の【カテゴリー】が生成された。【仕事を継続するためのサポート】は〔自身や家族のことを気遣ってくれた〕〔仕事と家庭を両立できるよう勤務を調整してくれた〕、【仕事への積極性向上のためのサポート】は〔考えを否定せず受容してくれた〕〔鼓舞された〕〔激励された〕〔責任を軽くしてくれた〕、【成長促進のためのサポート】は〔助言をくれた〕〔問題について一緒に考えてくれた〕〔学習の機会をくれた〕〔役割を与えられた〕、【成果や可能性を実感するためのサポート】は〔頑張りを認められた〕〔成長への期待を示された〕、【信頼関係構築のためのかわり】は〔好意的に接してくれた〕〔求めた時に相談に乗ってくれた〕〔時間をとって話を聞いてくれた〕〔仕事以外の個人的な話をした〕、【上司のビジョンに向かう行動が見える】は〔上司の仕事ぶりを見た〕〔上司のビジョンを聞いた〕から構成された。</p> <p>＜考察＞</p> <p>中堅看護師が上司のサポートを受け入れるためには【信頼関係構築のためのかわり】が必要不可欠であり、信頼関係の有無や程度によって上司のサポートの効果は増減することが推察された。【自己のビジョンに向かう行動を見せる】は波及効果によって中堅看護師のWEを向上させていた。</p>		